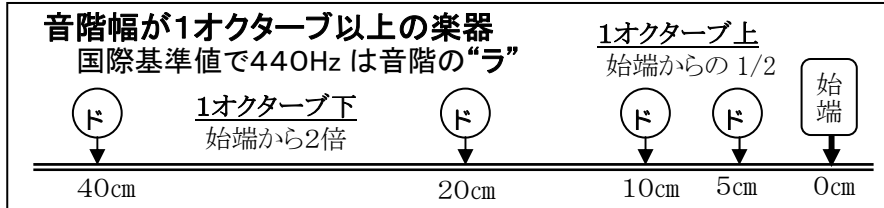


# 楽器を作って曲を弾こう

下や右の説明図の数値を参考にティッシュペーパーの箱やコップ、糸、ゴムなどを使って楽器を作り、曲を弾きましょう。

楽器の大きさを変えるときは、右図や音符シートの寸法全体を同じ比率で拡大、縮小にします。(単位: cm)



この工作は身の周りにある物と音階シート(下図)を使って、「ド、レ、ミ…」の音を作るものです。

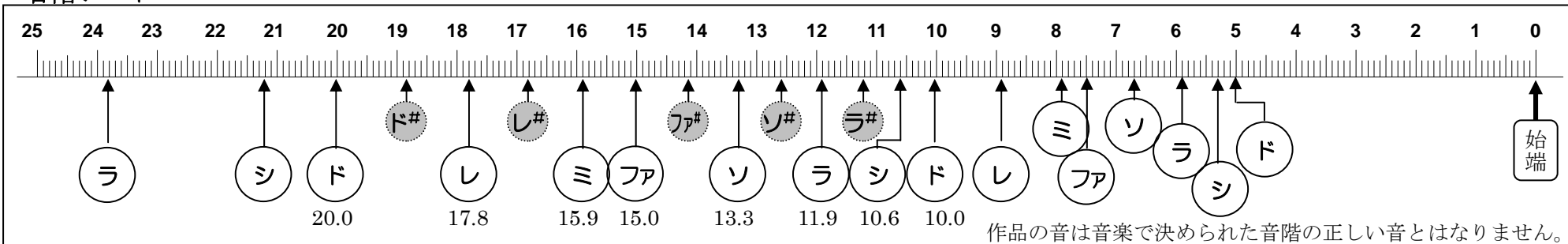
ガラスコップやストローを使っても同じように音(楽器)を作ることができ、ガラスコップでは下から上まで同じ太さのものを使い、音階ごとに水の量を音階シートに記載されている寸法の高さに、ストローでは音を発する箇所からのストローの長さを音階シートの長さにします。

材料は、ボックスティッシュの空き箱、割り箸(鉛筆など) 3本、輪ゴム 1本、セロテープを使用します。

1. ティッシュボックスの中央部にあるナイロンシートを取り除き、外枠に添って切った音階シート(25 cm)を箱上部の右端から1.5cmにシート「始端」を合わせてセロテープで貼る。
2. 箱の縦の長さに合わせて切った割り箸2本重ねて箱の両端にセロテープで固定する。この時、箸の左側を「始端」にあわせる。
3. 箱に輪ゴムをかけて、輪ゴムが強く張るように外側にゴムを引き、両側の割り箸の箇所を固定する。
4. 輪ゴムの下に割り箸を立てて通し、割り箸を左右に動かして音階シートのそれぞれの音の箇所に割り箸の内側を合わせ、ゴムを上から軽く指で押さえて、内側を指で輪ゴムをはじいて音を出す。

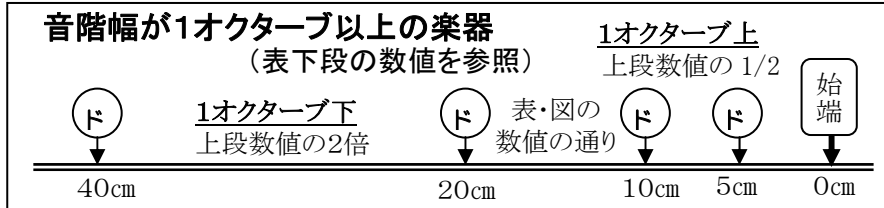


## 音階シート

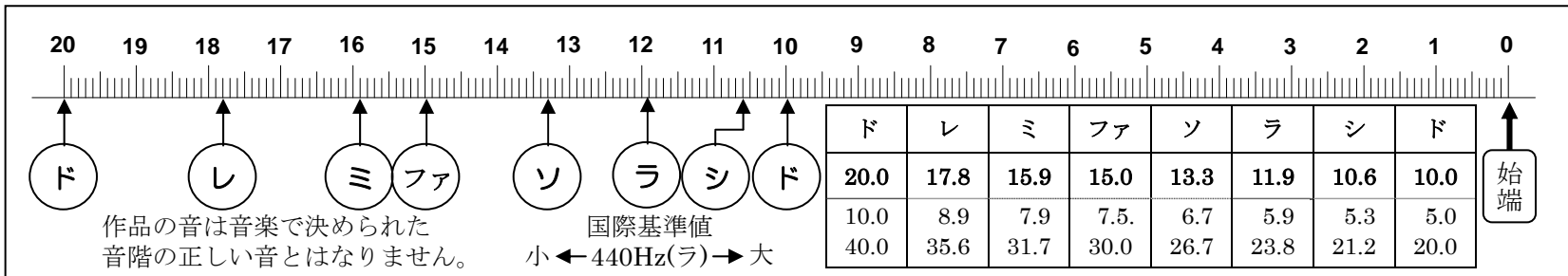


# 楽器を作って曲を弾こう

下や右の説明図の数値を参考にティッシュペーパーの箱やコップ、糸、ゴムなどを使って楽器を作り、曲を弾きましょう。  
楽器の大きさを変えるときは、図や表の寸法全体を同じ比率で拡大、縮小にする。



(単位 : cm)



周波数など音階ごとの条件を定めている音律は、平均律や純正律、ピタゴラ律などがありますが、この資料の数値や寸法は平均律によるものです。

